

台湾・東吳校友合唱團 京都公演

ウィル・トッド

待降節オラトリオ《約束》

※日本初演

歓迎演奏 アンサンブル ESCA (指揮 魏田慶太)

Soochow University Alumni Chorus
Kyoto Concert

Will Todd:
Advent Oratorio
‘The Promise’

※Japan Premiere

指揮 翁佳芬 / WENG, Chia-Fen

作曲・ピアノ ウィル・トッド / Will Todd

ソプラノ独唱 林慈音 / LIN, Tze-Inn (Grace Lin)

キーボード 陳滔毅 / CHEN, Tao-Yi

ベースギター 謝宗翰 / XIE, Zong-Han

サクソフォン 林奕銘 / LIN, I-Ming

ドラム 吳沛奕 / WU, Pei-Yi

合唱 東吳校友合唱團・アンサンブル ESCA
Soochow University Alumni Chorus
Ensemble ESCA

約束

日本初演

待降節オラトリオ

「青のミサ」の世界的ヒットで知られる
ウィル・トッド初来日!!

作曲・ピアノ

Will Todd

ウィル・トッド

2026. 8/4 〈火〉

19:00 開演 (18:30 開場)

京都府立府民ホール ALTI

〒602-0912 京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1

(京都市営地下鉄「今出川駅」6番出口より徒歩約5分)

入場料 一般 2,000円 学生 1,000円 (全席自由)

チケット取り扱い



コーラス・カンパニー

[https://choruscompany.com/
concert/260804promise/](https://choruscompany.com/concert/260804promise/)



teket

<https://teket.jp/13495/70847>



アルティ事務室窓口 (9:00~18:00・休館日を除く) ※アルティメイト会員割引あり

主催：東吳校友合唱團 主管：株式会社コーラス・カンパニー 後援：京都府合唱連盟 お問い合わせ：コーラス・カンパニー 075-415-8686

世界中で大きな反響を呼んだジャズ・ミサ『青のミサ (Mass in Blue)』で知られる英国の作曲家、ウィル・トッドによる新作オラトリオ『約束 (The Promise)』の日本初演公演。

東吳校友合唱團の委嘱により作曲された本オラトリオは、「待降節」を主題とする作品。歌詞には待降節にまつわるテキストのほか、作曲者自身によるオリジナルの言葉も含んでいる。宗教的大作としては、『Mass in Blue』（2003年）、『Passion Music』（2018年）に続く作品に位置づける。演奏時間は約38分で、ソプラノ独唱、混声四部合唱のほか、サクソフォン、キーボード、ベースギター、ドラム、ピアノで編成されており、ジャズ、ブルース、そして英国合唱の伝統を力強く融合させた、ウィル・トッドらしい作風が特徴。

台湾で昨年行われた世界初演に続き、本公演においてもウィル・トッド自身がピアノ・パートを担い、演奏を牽引する。

Program

アンサンブル ESCA (指揮 梶田慶太)

My Lord Has Come	(ウィル・トッド 作曲)
Cloth Me In Sleep	(ウィル・トッド 作曲)
めぐりあい-『梁塵秘抄』より	(千原英喜 作曲)
さびしいカシの木	(木下牧子 作曲)

東吳校友合唱團 (指揮 翁佳芬)

〈台湾の合唱曲〉

天鳥鳥 (雨が降る)	(台湾民謡／蔡昱嫻 編曲)
花樹下 (花の木の下で)	(謝宇威 作曲／蔡昱嫻 編曲)
今生今世 (生まれ変わっても)	(石青如 作曲)
身騎白馬 (白馬に乗って)	(高竹嵐 作曲)
台灣是寶島 (台湾は宝の島)	(蕭泰然 作曲)

待降節オラトリオ《約束》(ウィル・トッド 作曲)

Will Todd: Advent Oratorio 'The Promise'

1. I Look From Afar
2. Four Thousand Winters
3. Creator of the Stars
4. The Angel Gabriel
5. Magnificat
6. O Oriens
7. A Rose Has Sprung Up
8. A Great Light
9. The Promise
10. On Them Has The Light Shined



作曲・ピアノ ウィル・トッド／Will Todd

ウィル・トッドは英国北東部ダラム出身の作曲家・ピアニスト。幼少より独学でピアノを学び、即興演奏への情熱を核に多彩な活動を展開してきた。ロイヤル・バレエ&オペラやBBCシンガーズなど英国を代表する団体と協働し、各国で自作の演奏・指揮を行う。合唱作品を中心に、『マス・イン・ブルー』や『マイ・ロード・ハズ・カム』など世界的に親しまれる楽曲を多数生み出している。その作風は、ジャズの語法と合唱の伝統を融合させた、リズムックで色彩豊かな音楽に特徴がある。さらにオペラや舞台作品にも積極的に取り組み、主要歌劇場からの委嘱も多い。英国各地の合唱団と深く関わりながら、教育・普及活動にも力を注いでいる。



指揮 翁佳芬／WENG, Chia-Fen

台湾を代表する合唱指揮者。深い音楽解釈と的確な指導により幅広いレパートリーを手がけ、新作委嘱作品の初演にも積極的に取り組んでいる。2002年に高雄室内合唱団を創設し、2024年まで芸術監督を務め、同団を台湾有数の合唱団へと導いた。これまで国立中山大学教授および台湾合唱協会理事長として、後進の育成と合唱文化の発展に寄与してきた。国際的にも活動し、各地で講師や審査員を務めている。

合唱 東吳校友合唱團／Soochow University Alumni Chorus



東吳校友合唱團は2011年に東吳大学合唱團の卒団生によって結成された合唱団。これまで台北をはじめ各地で約30回の公演を重ね、ミサ曲やオラトリオ、世界の合唱作品など幅広いレパートリーを持つ。音楽を通じた社会貢献を理念に活動し、国内外で高い評価を得ている。香港での合同公演やベートーヴェン《第九》などの大規模作品にも出演。近年はNSO 国家交響楽団との共演や海外公演も行い、作・編曲の委嘱にも積極的に取り組みながら、台湾の合唱音楽の発展に寄与している。

歓迎演奏 アンサンブル ESCA (指揮 梶田慶太)



指揮者・梶田慶太のもと、「声」と「アンサンブル」の可能性を追求することを目的に、アカペラに特化した女声アンサンブルとして2021年12月に始動した。団名は、Elegant (優雅に)、Smart (おしゃれに)、Cool (カッコよく)、Active (活動的に)の頭文字に由来する。月1回という限られたリハーサルの中で高い集中力を保ち、アンサンブルの可能性を追求している。